

ニコライ1世(位1825~55)

()1政策❖a

オスマン帝国弱体化→黒海の()2港からボスポラス・ダーダネルス海峡へ

他のヨーロッパ諸国との間で()3問題❖bという国際対立

┌エジプト=トルコ戦争(1931~33,39~40)=エジプトとオスマンとの戦争で()4を支援。

└両海峡の自由航行権を獲得→イギリスの反対で権利放棄→南下阻止

❖a---ロシアが不凍港を求めて黒海沿岸および東アジアで領土を南へ拡大させようとした政策。

❖b---オスマン帝国とその支配地域をめぐる西欧諸国の外交問題。

クリミア戦争❖c(1853~56)

オスマン帝国→()5管理権をナポレオン3世に→フランスと連携→ニコライ1世反発

1853年 ロシア→モルダヴィア・()6❖d占領→オスマン帝国と開戦=ギリシア正教徒保護の名目

1854年 英・仏など→()7帝国側につく→大国際戦争→「ウィーン体制」崩壊。

激戦のすえ1855年()8要塞陥落→ロシア敗北→後進性明らかに

❖c---ロシア軍220万、英仏軍65万の兵力。戦場はクリミア半島~カムチャッカ半島に及ぶ。

イギリスの[]9が負傷兵の救護奉仕活動を実践。英国も戦費で財政破綻し内閣総辞職。

❖d---ルーマニア東北部、南部。オスマンの宗主権・ロシアの軍政下。1848年反軍政の独立宣言。戦後自治権。

アレクサンドル2世(位1855~81)--戦争中に即位--→「大()10❖e」に着手

1856年 パリ条約→()11中立化=非武装化 オスマン帝国以外の軍艦の両海峡通行不可

1861年 ()12解放令→農奴を人格的に解放→自由な労働力創出→工業化の進展

農地分与---有償かつ()13❖fに対して

1863年 ()14独立運動=「一月蜂起」または「1863年蜂起」❖g(~64)→ 専制強化

❖e---1863年大学令、1864年初等国民学校令、1871年()15の社会進出=公務員・教師。1874年徴兵制。

❖f---農村共同体。農地を地条に分け農奴による耕作。年貢・賦役はミールの連帯責任。共同作業。ロシアの思想家
ゲルツェン(1812~70)はミールに革命の母体をみる。

❖g---ロシアの敗戦を契機に独立をめざし蜂起。ロシア軍による鎮圧、処刑、シベリア流刑。

アジア膨張策---清との条約

1858年 ()16条約---アムール川=()17江=左岸をロシア領に

1860年 ()18条約---ウスリー川=烏蘇里江=以東をロシア領に

日本海沿岸に不凍港=()19港を建設

ロシア=トルコ(露土)戦争(1877~78)

┌パン=()20主義❖h→スラヴ系民族の団結と統一。バルカン半島への勢力拡大。

└ボスニア=ヘルツェゴヴィナ❖iのキリスト教徒反乱(1875年)

1877年 ふたたびオスマン帝国に対し宣戦→ロシア勝利

1878年 ()21条約→南下政策大きく前進

┌オスマン・トルコからルーマニア・セルビア・モンテネグロ独立

└()22自治公国の独立・領土拡大(エーゲ海まで)→ロシアの保護下に

→オーストリアと英国の反対

1878年 ベルリン会議 ドイツのビスマルクの調停

サンステファノ条約破棄→()23条約

┌ブルガリア自治公国の()24、領土縮小→ロシアの南下政策阻止

└ルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立維持

└()25→ボスニア・ヘルツェゴヴィナの行政権を獲得

└イギリス→キプロス島の行政権を獲得

→ロシアは()26同盟脱退

❖h---1848年6月プラハで第一回汎スラブ会議。フランクフルト国民議会へ不参加のチェコ人たち。

❖i---()27半島の内陸部 →ボスニア人という一体感 → 国民国家をめざす動きにより深刻な亀裂

セルビア系(ギリシア正教)→クロアチア系(カトリック)→モスLEM系(イスラーム)

┌セルビア系→=ロシア(パン=スラヴ主義)の支援を受けた()28との統一

└クロアチア系→オーストリア=ハンガリー二重帝国のなかの()29との統一

→民族対立→第一次世界大戦の導火線=1914年サラエボ事件

ナロードニキ (人民主義者)

学生・知識人 (インテリゲンツィア) --西欧の自由主義思想や社会主義思想に接する

→社会改革には農民を啓蒙する必要→「人民のなかへ」=「ヴ=()30」

1874年 農村でミールを基盤として平等な新社会建設をめざす→失敗

→絶望した人々→ニヒリズム (虚無主義) やテロリズムに走る

「ニヒリスト」---虚無主義。テロ、暗殺による体制転換を狙う。

1881年 アレクサンドル2世()31--ナロードニキの「人民の意志派」❖j 要人の暗殺が続く

❖j---中心人物はソフィア・ペロフスカヤ(1853~81)という名門貴族出身の女性。翌月5人が処刑された。

ロシア文学

()32 1799~1837 デカブリスト運動を支持。「エフゲニー・オネーギン」「大尉の娘」

()33 1809~1852 農奴制、帝政を風刺。「死せる魂」

()34 1818~1883 農奴の悲惨さを描き農奴解放の世論を高める。「父と子」「獵人日記」

[]35 1821~1881 ロシア社会の末期的状態を描く。「罪と罰」「死の家の記録」

[]36 1828~1910 人道主義の立場からロシア社会を描く。「戦争と平和」



アレクサンドル2世



セヴァストポリの戦い(クリミア戦争)



ナイチンゲール



ボスニア=ヘルツェゴヴィナ



プーシキン



ゴーゴリ



ドストエフスキー



トルストイ

- ・改革 ・女性 ・農奴 ・聖地 ・南下 ・三帝 ・暗殺 ・東方 ・黒海 ・分割 ・不凍 ・北京 ・黒竜
- ・スラブ ・ミール ・オスマン(2) ・セルビア ・ゴーゴリ ・バルカン ・ベルリン ・ワラキア ・ナロード
- ・アイグン ・ポーランド ・ブルガリア ・プーシキン ・オヘストリア ・クロアチア ・ツルゲーネフ
- ・セヴァストポリ ・サンステファノ ・ウラジオストーク